

質問者及び主な質問項目

平成28年6月佐川町議会定例会一般質問

受理番号	質問者	主な質問項目
1	松浦隆起	<p>1. 防災対策について SNSの活用。安否確認ボードの活用。無線LAN(Wi-Fi)の防災拠点等への整備。SNSとWiFiについては、防災の観点だけではなく観光や情報発信の観点からの取り組みも。</p> <p>2. 「ふるさと住民票」制度の創設について 町外で暮らす町出身者などに、町の情報やサービスを提供する「ふるさと住民票」制度の創設について。</p> <p>3. 放課後児童クラブ・教室について 放課後児童クラブ・教室の現状と今後について。</p>
2	坂本玲子	<p>1. 防災対策について</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 熊本地震で災害に対する認識はどう変わったか。 ② 一般住宅の耐震化の実施状況。 ③ 飲料水、生活水の確保は。 ④ 指定避難所のトイレの洋式化の進捗状況は。 ⑤ 仮設住宅地、がれき処理は。 <p>2. 就学援助について</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 佐川町の就学援助の状況。 ② 保護者の実態把握。 ③ 運用の改善。 <p>3. 保育士の採用を</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 保育士雇用の現状。 ② 私立保育所の状況。 ③ 新施設への雇用。 ④ 任期付職員について。 <p>4. その他 行政報告内容</p>
3	森正彦	<p>1. 住宅の耐震化推進について</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 住宅の耐震化の現状。 (要耐震化住宅の数、耐震化事業の27年実績と28年予算) ② 耐震化の達成目標と推進方策の具体策。 ③ 住宅の耐震化事業の自己負担に対する代理受領制度や融資制度の状況。 ④ 国・県への住宅耐震化事業の増額を強く要請すべき。 <p>2. 防災サロンの開催で命を守る行動の周知徹底を</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 町民の命を守るために「我が家の避難行動計画」と「我が家の災害に備えるチェックシート」の早期周知徹底をすべき。 ② 各自治会での防災サロンの早期開催は有効な手段であり、その方策を問う。

4	下川芳樹	<p>1. 自伐型林業の副業について 地域おこし協力隊が自伐型林業で定住するための副業として、以前に質問した集落営農への取り組みを進める考え方はどうか。また集落営林への取り組みについて。</p> <p>2. 自伐型林業と防災について 河川への土砂流入防止や保水力向上のため、山林の適正な管理を進める必要がある。自伐型林業による防災対策を具体的に検討してみてもどうか。</p> <p>3. 集落活動センターの連携について 産業や観光、健康づくりで、集落活動センターの連携を図ることにより、それぞれの地域の取り組みが生きると思われる。具体的な考え方は。</p>
5	徳弘初男	<p>1. 自伐型林業モデル事業について</p> <p>2. 国土調査進捗状況について</p> <p>3. 新エネルギー対策の太陽光発電事業の現在の売電の状況について</p>
6	中村卓司	<p>1. 認知症対策について 町の認知症の現状とその予防策、また対象者への対応について。</p> <p>2. 健康推進スポーツについて 町のスポーツでの健康推進についての考え方は。</p> <p>3. 道の駅について 今後の進め方を時系列で説明を。</p>
7	今橋寿子	<p>1. 佐川町総合計画について 第5次佐川町総合計画が策定され全町に郵送配布されているが、町民からの反応はどうか。どう受けとめられているのか。 今後、計画案だけにならないため、次の具体的な取り組みはどうするのか。 チーム佐川としてのアピールや連帯感を強めるためのバッジ等考えているのか。</p> <p>2. 文教のまちについて 佐川町は、伊藤蘭林塾や名教館で学んだ多くの先人たちの功績のもとに文教のまちと言い継がれているが、今改めて誇れる点と、力を入れている取り組みは何か。</p> <p>3. あったかふれあいセンターの職員の処遇について 多くの地域の皆様に喜んでいただき、視察も多い。もっと評価すべきでは。</p> <p>4. 食育と学校給食について 健康なまちづくりを目指し、それぞれの課の連携にどのような取り組みをしているか。</p>
8	邑田昌平	<p>1. 職員募集に関する質問 4名募集に対して6名採用の趣旨。</p> <p>2. 在宅介護に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 要支援1、2者の取り扱いに関して。 ② 介護療養病床の廃止、在宅療養者の増加への対応。 ③ 在宅系サービス(介護・看護)の充足度。 <p>3. 畜産試験場の活用</p> <p>4. 母子家庭対応</p>